

私 の 工 夫

子どもの読書生活の充実を
目指して
「ありの行列」の実践を通して

倉敷市立連島東小学校

教諭 上杉 絵理奈



1 はじめに

本校は、平成27年度中国地区学校図書館研究会の研究指定校となり、「自分の考えをもち、自分の言葉で表現する子どもの育成」学校図書館を活用した国語科学習を通して「をテーマに研究を行った。国語科の教材で学んだ読み方を活用しながら読書活動をした方、新しいジャンルの本にふれ読書の幅を広げたりするなど、児童の読書生活の充実を目指して実践を行った。

2 実践について

本単元では、教科書教材「ありの行列」(光村図書) 補助教材「お

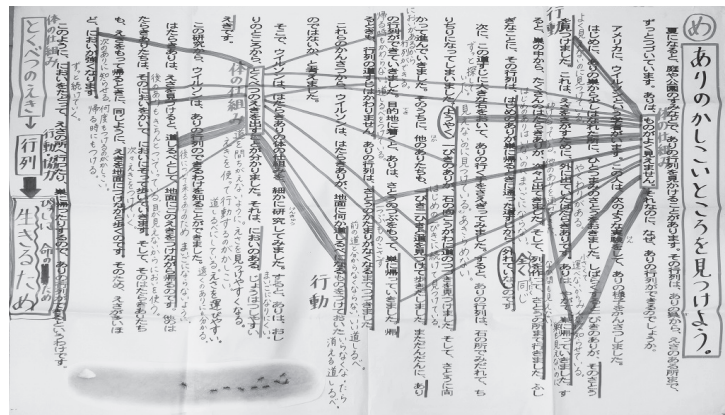
としぶみ(※)(福音館書店)を用いた。第一次と第二次は、「ありの行列」をおもしろみつけ型で読み、科学読み物の読み方の習得を目指した。第三次では、科学読み物「おとしぶみ」を読み、第四次ではいろいろな生き物の科学読み物を読むことで、習得した読み方を活用しながら読書をする事、科学読み物のおもしろさを知り読書の幅を広げること为目标として、実践を行った。

※ゾウムシの一種。葉を円筒形に巻いて卵を産む特徴がある。

【1】習得した読み方を活用する

本単元では、児童が学習したことを活用し、目的をもって本を選んだり、必要な情報を取り出したししながら読書をすることができ

るよう、次のような指導方法の工夫を行った。



体の仕組みと行動をつないで考えた第二次の板書

(1) 読み方を習得させる工夫

第一・二次は、おもしろみつけ型で授業を行った。

まず、児童の感想から「ありにはかしいところがたくさんありそうだ」ということを想起させ、それを確かめていくというめあてを作った。次に、本文を4つの段落に分け、ありのかしこさを見つ

けていった。児童が見つけたかしこさを位置付けていき、科学読み物の読み方としてまとめた。それぞれの段落では、①行動を読むとありのかしこさがよく分かる。②体の仕組みと行動をつないで読むとありのかしこさがよく分かる。

③体の仕組みと行動をつないで読むとありがよりよく生きようというように、段階的に科学読み物の読み方を学習した。児童の思考の流れに沿って単元を構想することで、自ら読み方を獲得していくことができると考えた。

(2) 習得したことを活用できるようにするための工夫

児童は、「ありの行列」の学習を通して、「他の生き物にもかしこさや生きるための工夫があるのではないか」と、読書活動への意欲をもつことができた。しかし、学んだ読み方を理解はしているが活用しながら自分一人で読むことは難しい。そこで、第三次として、科学読み物「おとしぶみ」を読む活動を設定した。

第四次の読書活動へスムーズに移行できるよう本文の提示を読み聞かせで行い、ワークシートは挿絵を中心としたものにした。「ありの行列」とは内容や書きぶりが違う教材を学習することで、習得した読み方の有用性を感じ、自信をもって第四次へ臨むことができた。

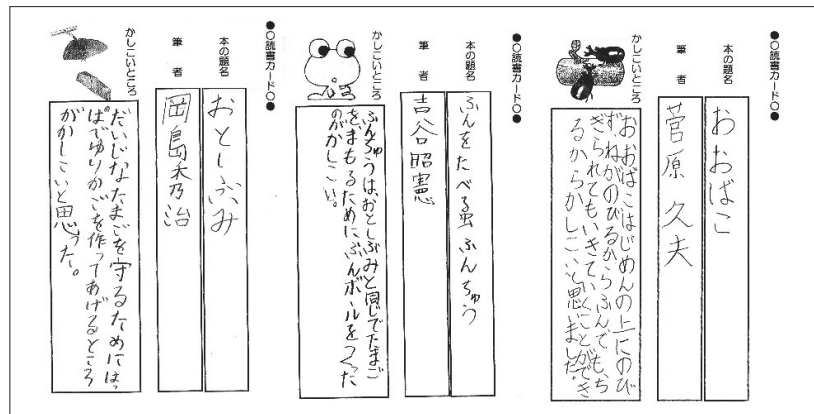


第三次 読み聞かせによる本文の提示

【2】読書の幅を広げる

児童にあまりなじみのないジャンルである科学読み物のおもしろさに気付く、意欲的に読書に取り

組めるよう、次のような指導方法の工夫を行った。



第三・四次の読書カード（習得した読み方の活用）

(1) 発問の工夫

第三次では、「おとしぶみは卵の産み方がかしこい」という意見がたくさん出た。そこで、おとしぶみが一時間かけて葉でゆりかごを作ることを確認し、「こんなに大変なことをしなくても、葉の上

に卵を産めばいいのではないかと問いかけた。児童は、敵から卵を守っていることや幼虫がえさに困らない様になっていることなどを生き生きと語り、科学読み物のおもしろさに気付くことができた。

(2) 選書の工夫

動物、植物、菌類など様々な生き物についての科学読み物を図書館書と連携して集めた。その中から、第二次で習得した読み方を活用しやすい本を42冊選んだ。

3 おわりに

国語科では、児童が日常生活において、読書活動を活発に行うようになることが求められている。そのために、読書の時間を確保することも大切だろう。しかし、量的な充実だけでは、読書の楽しさや魅力に気付くことができず、読書から離れていってしまう児童もいる。したがって、国語科では、読書活動の質的な充実を目指し、次の3つの視点を掲げた。

た読み方を自覚させる。

○習得した読み方を活用する場を設定し、普段の読書活動で使える力にする。

○幅広いジャンルの本に触れる機会を設け、そのおもしろさを伝える。

この3つの視点を授業づくりに取り入れ、読書の新たな楽しさや魅力を伝えていくことが大切であると考える。

これからも、子どもたちの読書生活の充実につながるような授業づくりを目指していきたい。



読書コーナーで科学読み物を読む子ども達